

階層別選択研修（共同）

研修名	中級【業務改善分野】	おすすめポイント	
	全体最適の課題解決手法を学ぶ ～ボトルネックを探せ！～	座学に留まらない実践的な課題解決手法を学べる研修です。問題を構造的に分析し、その根本原因＝ボトルネックを探し、そこに注力することで課題を解決していくという一連の流れを学びます。 各グループに専門技術を持ったファシリテーターが付き、研修生をしっかりサポートします。	
講師	NPO法人全体最適の行政マネジメント研究会 伊原 洋輔 ほか	実施日数・時間	3日間
		手法	通所研修
		会場	自治人材開発センター
		市町村研修コード	229
ねらい	県や市町村が直面する行政課題を解決する政策（事務事業）を企画し、実行できる職員となるため、部分的な解決ではなく全体を最適化して高いパフォーマンスを発揮する「全体最適」の課題解決手法を演習を通して習得し、実践的に学びます。		
対象者	【県】 次のいずれかに該当する職員 ・令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員 【市町村】 主任級以下の職員		
実施日	7/25(火)・7/26(水)・8/25(金)		
予定人員	県10人・市町村10人		
学 習 計 画			
日程	カリキュラム	時間数	内 容
		時 分	
1日 9:00 ～ 16:30	導入 論理的に考える力をつける 問題を定義する 目的を明確にする ボトルネック（根本問題）を探す	6 30	・全体最適の考え方 ・全体最適を実現する「制約理論」 ・論理的思考ツール「ブランチ」 ・問題を定義する必要性とその方法 ・目的と指標の明確化の方法 ・ボトルネックの探し方
2日 9:00 ～ 16:30	ボトルネックの解決策を検討する 解決策の目標を明確にする 段取り八分の工程表を作成する	6 30	・ボトルネックに存在するジレンマの解消方法 ・目標の明確化とその手法「ODSC」 ・プロジェクトマネジメントにおける工程表の要素と必要性
実践期間 (約1か月)	・研修生が自らの職場で課題に取り組む (オンラインコミュニケーションツールを活用し、研修生同士の情報交換ができるようにする。 また、講師も参加し、質問や相談に対応するなど、職場での実践に伴走する。)		
3日 9:00 ～ 16:30	実践結果を振り返る (講評：明治大学公共政策大学院 教授 田中 秀明) 政策課題を分析する	6 30	・研修生同士での発表及びフィードバック ・更なる実践へのステップアップ ・本研修で学んだことを活用した、特定の政策課題の分析 ・結果の発表及びフィードバック
特記事項	・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。 県職員のみ受講後は研修効果確認レポートの提出が必要です。		